

1 幼稚園

園児数 7,229 人で減少

3歳児入園者の割合は上昇 幼稚園就園率は低下

表1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
			園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数 C/B	対前年度増減数	園児数 C/D	対前年度増減数	
平成19	99	489	8,683	△2.8	720	△1.6	17.8	△0.3	12.1	△0.1	93.5
20	99	488	8,208	△5.5	711	△1.3	16.8	△1.0	11.5	△0.6	93.7
21	99	481	7,823	△4.7	677	△4.8	16.3	△0.5	11.6	0.1	93.6
22	94	467	7,660	△2.1	664	△1.9	16.4	0.1	11.5	△0.1	93.8
23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1	94.4
24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4	94.3
国立	1	5	106	△9.4	8	14.3	21.2	△2.2	13.3	△3.4	100.0
公立	32	119	1,590	△1.3	140	2.2	13.4	0.3	11.4	△0.4	100.0
私立	59	331	5,533	△2.6	499	1.0	16.7	△0.1	11.1	△0.4	92.6

(1) 幼稚園数

幼稚園数は92園で、前年度より1園減少(減少のみ)し、このうち休園中の幼稚園は3園(私立3園)であった。

設置者別にみると、国立が1園、公立が32園、私立が59園となっている。

(表1、統計表2、4、5)

(2) 学級数

学級数は455学級(国立5学級、公立119学級、私立331学級)で、前年度より11学級減少している。

収容人員別にみると、「1~15人学級」が153学級で最も多く、次いで「16~20人学級」が129学級、「21~25人学級」が79学級などとなっている。

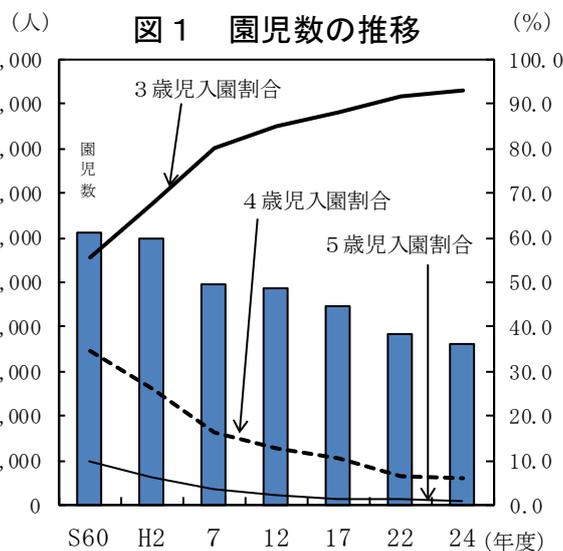
(表1、統計表7、8)

(3) 園児数

園児数は7,229人で、前年度より182人(2.5%)減少している。

男女別にみると、男子が3,635人で、前年度より109人(2.9%)減少し、女子が3,594人で、前年度より73人(2.0%)減少している。

設置者別では、国立が106人、公立が1,590人、私立が5,533人で、私立が全体の76.5%を占めている。



年齢別では、3歳児が2,283人で、前年度より55人(2.4%)減少し、4歳児が2,391人で、前年度より164人(6.4%)減少し、5歳児が2,555人で、前年度より37人(1.5%)増加している。園児数に占める3歳児の割合は31.6%(前年度31.5%)である。

また、3歳児入園者の割合は92.9%(前年度92.6%)である。

本務教員1人当たりの園児数は11.2人(前年度11.6人)で、全国の14.5人を下回っている。(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位:人、%)

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児入園者の割合	
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園		5歳から入園
平成19	8,683	2,856	2,820	2,507	313	3,007	2,495	414	98	90.5
20	8,208	2,618	2,764	2,484	280	2,826	2,402	328	96	91.4
21	7,823	2,387	2,697	2,447	250	2,739	2,357	305	77	91.9
22	7,660	2,462	2,483	2,246	237	2,715	2,329	279	107	91.9
23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
男子	3,635	1,165	1,175	1,069	106	1,295	1,131	128	36	92.6
女子	3,594	1,118	1,216	1,128	88	1,260	1,107	120	33	93.3
国立	106	23	40	26	14	43	26	17	—	70.8
公立	1,590	471	534	452	82	585	478	90	17	88.1
私立	5,533	1,789	1,817	1,719	98	1,927	1,734	141	52	94.7

幼稚園就園率(小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率)は28.0%で、前年度より0.9ポイント低下している。

(表3、統計表10、19)

表3 幼稚園就園率

(単位:人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成19	3,029	10,125	29.9
20	2,996	10,168	29.5
21	2,804	9,673	29.0
22	2,745	9,586	28.6
23	2,695	9,327	28.9
24	2,531	9,034	28.0

注) 幼稚園就園率=幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は647人(男子37人、女子610人)で、前年度より9人(1.4%)増加している。教員数に占める女子教員の割合は94.3%である。

職員数は125人で、前年度より1人減少している。

(表1、統計表9、12、14)

2 小 学 校

児童数 57,959 人で減少

男子児童、女子児童とも 2 万人台に

表 4 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			児童数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D	対前年度 増減数	
平成19	210	2,435	61,048	△0.6	3,662	△0.2	25.1	0.0	16.7	0.0	68.7
20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0	68.5
21	204	2,445	60,459	△1.1	3,679	0.3	24.7	△0.2	16.4	△0.3	68.2
22	203	2,430	59,870	△1.0	3,700	0.6	24.6	△0.1	16.2	△0.2	68.2
23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3	67.5
24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2	67.2
国立	1	12	468	△1.7	18	0.0	39.0	△0.7	26.0	△0.4	33.3
公立	198	2,372	57,491	△2.0	3,664	△0.9	24.2	0.0	15.7	△0.2	67.4

(1) 学校数

学校数は 199 校（本校 199 校）で、前年度より 2 校減少（減少のみ）し、このうち休校は 3 校であった。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 198 校となっている。

市町村別では、富山市 66 校、高岡市 28 校、射水市 15 校などとなっている。

学級数別では、7 学級の学校が 33 校（構成比 16.6%）で最も多く、次いで 13 学級の学校が 17 校（同 8.5%）、14 学級の学校が 16 校（同 8.0%）となっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模又は休校）」が 98 校（構成比 49.2%）、「12～18 学級（標準）」が 70 校（同 35.2%）、「19 学級以上（大規模）」が 31 校（同 15.6%）となっている。

（表 4、統計表 17、26）

(2) 学級数

学級数は 2,384 学級で、前年度より 48 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 2,054 学級（構成比 86.2%）、複式学級が 26 学級（同 1.1%）、特別支援学級が 304 学級（同 12.8%）となっている。

（表 4、統計表 18）

(3) 児童数

児童数は 57,959 人（男子 29,764 人、女子 28,195 人）で、前年度より 1,186 人（2.0%）減少している。これはピーク時（昭和 33 年度、159,700 人）の 36.3%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が 56,879 人、複式学級児童が 278 人、特別支援学級児童が 802 人となっている。

市町村別では、富山市 22,807 人、高岡市 8,773 人、射水市 5,558 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 423 人（1.8%）、高岡市 287 人（3.2%）、砺波市 76 人（2.5%）などすべての市町村で減少している。

1学級当たりの児童数は24.3人（前年度24.3人）で、全国の24.6人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は15.7人（前年度15.9人）で、全国の16.2人を下回っている。
 （表4、5、統計表19、29）

表5 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成19	61,048	31,238	29,810	10,125	10,186	10,123	10,187	10,341	10,086
20	61,135	31,179	29,956	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
21	60,459	31,027	29,432	9,673	10,152	10,132	10,205	10,121	10,176
22	59,870	30,613	29,257	9,586	9,680	10,151	10,126	10,210	10,117
23	59,145	30,228	28,917	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224
24	57,959	29,764	28,195	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,682人（男子1,208人、女子2,474人）で、前年度より35人（0.9%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は67.2%である。

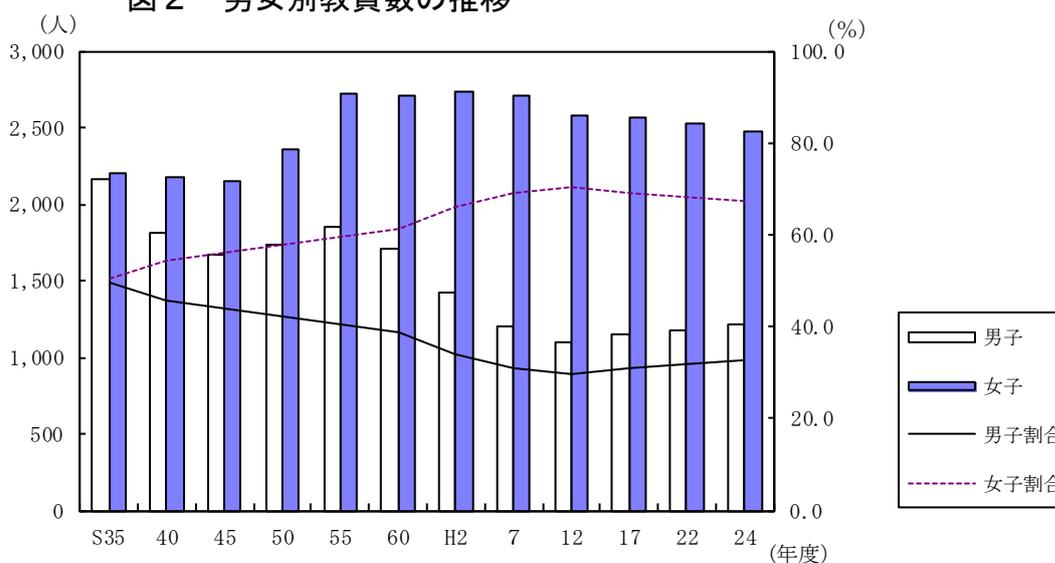
職員数は857人で、前年度より18人減少している。（表4、6、図2、統計表20、21、34）

表6 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成19	3,662	1,146	2,516
20	3,667	1,155	2,512
21	3,679	1,170	2,509
22	3,700	1,178	2,522
23	3,717	1,207	2,510
24	3,682	1,208	2,474

図2 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 23 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 22 年度間より 15 人（4.1%）多い 383 人で、理由別では「不登校」が 201 人（構成比 52.5%）で最も多く、次いで「その他」が 117 人（同 30.5%）、「病気」が 64 人（同 16.7%）となっている。

全児童数（平成 23 年度児童数 59,145 人）に占める長期欠席者の比率は、全国の 0.79% より 0.14 ポイント低い 0.65% で、低い順に全国第 16 位（前年度第 16 位）であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国の 0.33% より 0.01 ポイント高い 0.34% で、低い順に全国第 27 位（前年度第 24 位）であった。

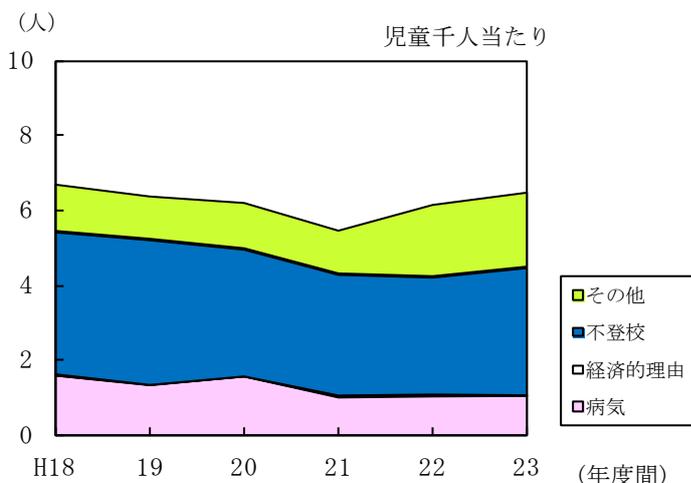
（表 7、8、図 3、4、統計表 23）

表 7 理由別長期欠席者数（単位：人）

年度間	計	長期欠席（30日以上）理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114
23	383	64	1	201	117

注）「その他」には、「欠席理由が2つ以上（「病気」と「不登校」など）あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図 3 長期欠席理由別推移



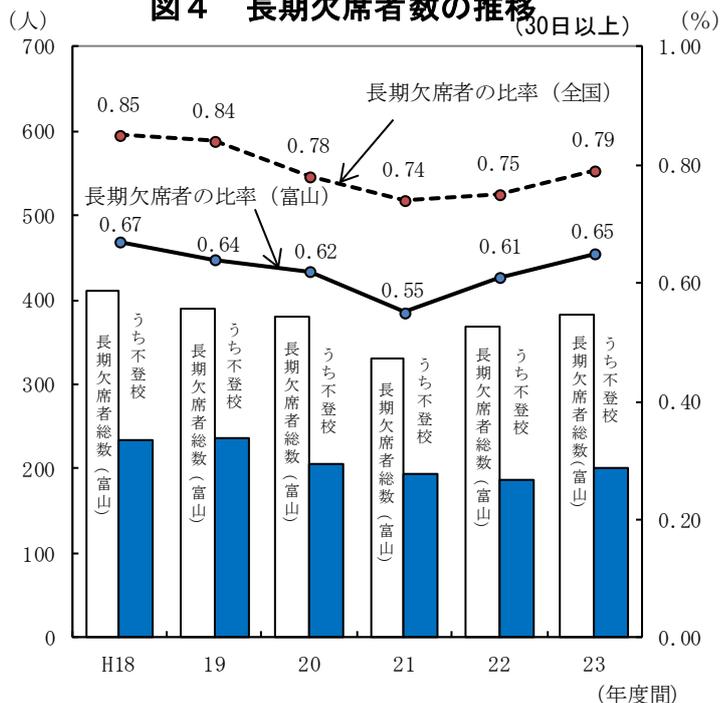
$$\text{児童千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 1000$$

表 8 全児童数に占める不登校の比率

年度間	富山県		全 国
	富山県	全 国	
平成18	0.38	0.33	
19	0.39	0.34	
20	0.34	0.32	
21	0.32	0.32	
22	0.31	0.32	
23	0.34	0.33	

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在児童数}} \times 100$$

図 4 長期欠席者数の推移



3 中 学 校

生徒数 30,364 人で減少
長期欠席者数は減少

表 9 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員 1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0	47.8
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2
国立	1	12	478	0.0	23	0.0	39.8	0.0	20.8	0.0	30.4
公立	81	1,002	29,561	△0.5	2,106	△0.8	29.5	0.1	14.0	0.0	47.4
私立	1	9	325	0.0	23	0.0	36.1	0.0	14.1	0.0	43.5

(1) 学校数

学校数は83校(本校83校)で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が81校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市28校、高岡市12校、南砺市8校などとなっている。

学級数別では、13学級が9校(構成比10.8%)で最も多く、次いで6学級、7学級、11学級がいずれも6校(同7.2%)ずつとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模)」が40校(構成比48.2%)、「12~18学級(標準)」が27校(同32.5%)、「19学級以上(大規模)」が16校(同19.3%)となっている。(表9、統計表36、38)

(2) 学級数

学級数は1,023学級で、前年度より9学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が895学級(構成比87.5%)、特別支援学級が128学級(同12.5%)となっている。(表9、統計表37)

(3) 生徒数

生徒数は30,364人(男子15,507人、女子14,857人)で、前年度より136人(0.4%)減少している。これはピーク時(昭和37年度、88,658人)の34.2%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が30,010人、特別支援学級生徒が354人となっている。

市町村別では、富山市11,896人、高岡市4,760人、射水市2,790人の順に多い。対前年度増減数をみると、砺波市39人(2.7%)、射水市19人(0.7%)、高岡市16人(0.3%)など5市村で増加し、氷見市58人(4.2%)、朝日町50人(14.2%)、上市町26人(4.3%)

など10市町で減少している。

1学級当たりの生徒数は29.7人（前年度29.6人）で、全国の29.0人を上回っている。

本務教員1人当たりの生徒数は14.1人（前年度14.1人）で、全国の14.0人を上回っている。
（表9、10、統計表40、51）

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年
平成19	30,456	15,483	14,973	10,551	9,849	10,056
20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539
22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305
24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093

（4）教員数及び職員数

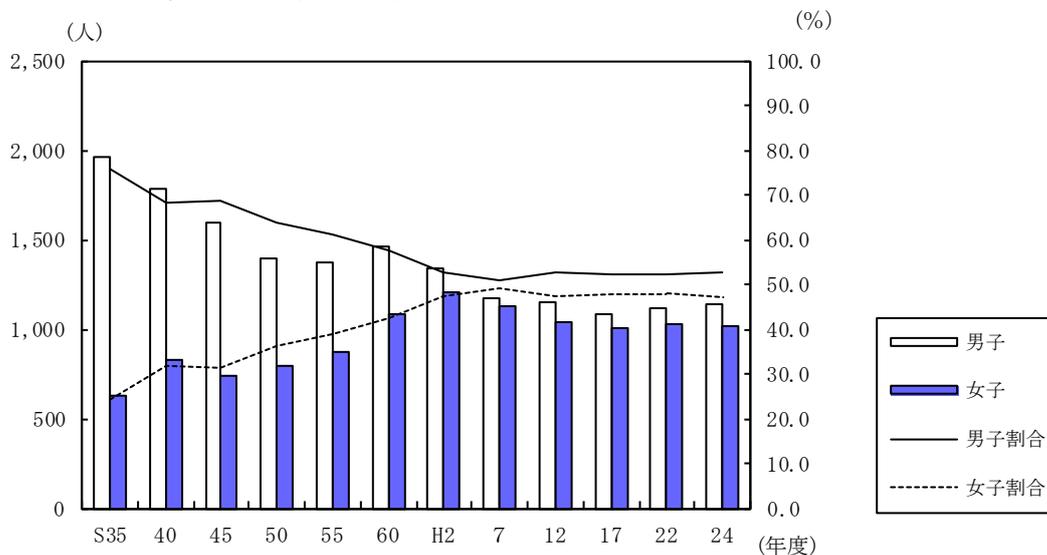
教員数（本務者）は2,152人（男子1,137人、女子1,015人）で、前年度より16人（0.7%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は47.2%である。

職員数は312人で、前年度より4人減少している。（表9、11、図5、統計表45、49）

表11 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成19	2,113	1,104	1,009
20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025
22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035
24	2,152	1,137	1,015

図5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成23年度間の30日以上長期欠席者数は、平成22年度間より36人(4.1%)少ない835人で、理由別では「不登校」が640人(構成比76.6%)で最も多く、次いで「その他」が142人(同17.0%)、「病気」が53人(同6.3%)となっている。

全生徒数(平成23年度生徒数30,500人)に占める長期欠席者の比率は、全国の3.42%より0.68ポイント低い2.74%で、低い順に全国第5位(前年度第8位)であった。

また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国の2.65%より0.55ポイント低い2.10%で、低い順に全国第4位(前年度第4位)であった。(表12、13、図6、7、統計表42)

表12 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	計	長期欠席(30日以上)理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124
23	835	53	-	640	142

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図6 長期欠席理由別推移

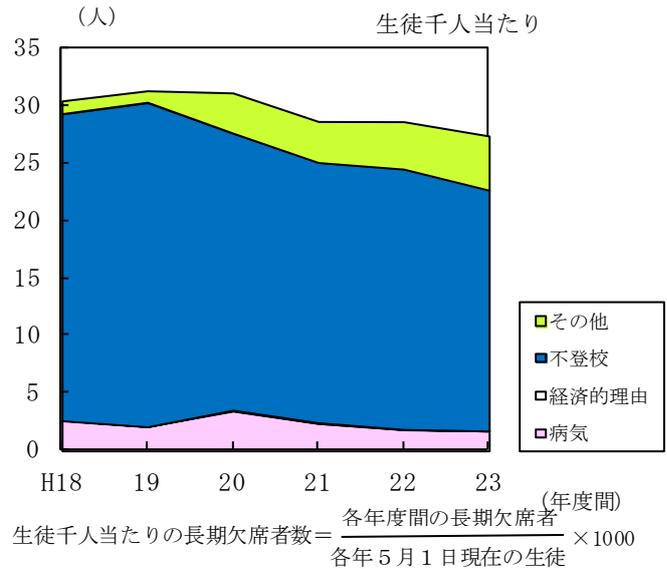


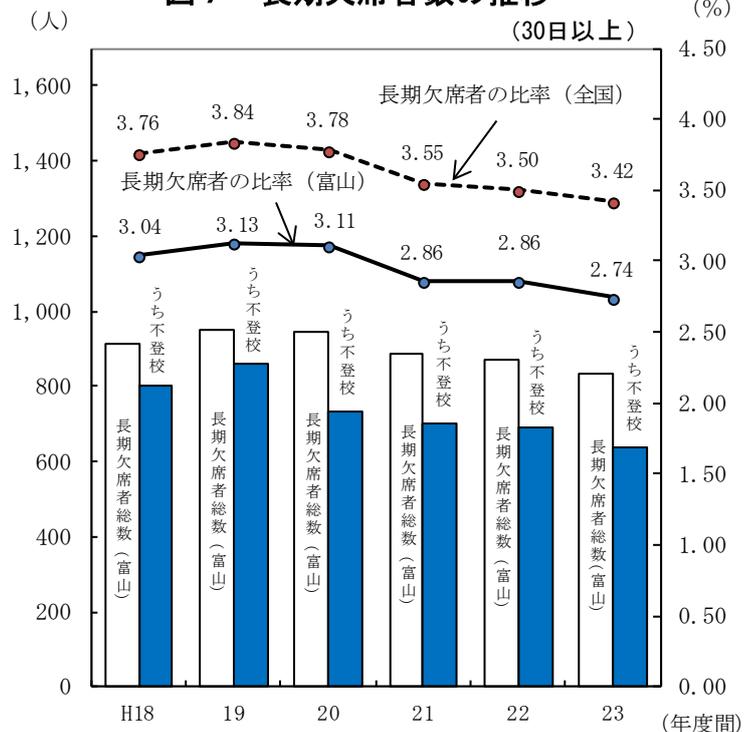
表13 全生徒数に占める不登校の比率

年度間	(単位:%)	
	富山県	全国
平成18	2.67	2.86
19	2.82	2.91
20	2.41	2.89
21	2.26	2.77
22	2.27	2.73
23	2.10	2.65

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。

図7 長期欠席者数の推移



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。

4 高等学校

【全日制・定時制課程】

生徒数 29,279 人で増加

表14 高等学校の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
		生徒数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	生徒数B/C	対前年度増減数	
平成19	57	28,830	△3.2	2,346	△2.3	12.3	△0.1	35.4
20	58	28,379	△1.6	2,332	△0.6	12.2	△0.1	35.2
21	58	28,110	△0.9	2,318	△0.6	12.1	△0.1	36.0
22	61	28,613	1.8	2,341	1.0	12.2	0.1	36.2
23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0	36.3
24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3	36.6
公立	43	23,112	1.5	1,917	△0.8	12.1	0.3	38.3
私立	10	6,167	2.9	427	1.2	14.4	0.2	29.3

(1) 学校数

学校数は53校で、前年度より8校減少(減少のみ)している。

設置者別にみると、公立が43校(全日制37校、定時制5校、併置1校)、私立が10校(全日制10校)となっている。

学科別では、1学科のみの単独校が32校(普通科20校、農業科2校、工業科5校、商業科2校、その他1校、総合学科2校)、総合校が21校(「普通科と職業科1」の学校が13校、「普通科と職業科2以上」の学校が7校、「職業科1と総合学科」の学校が1校)となっている。普通科を設置している学校は40校(構成比75.5%)である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が53校となっている。

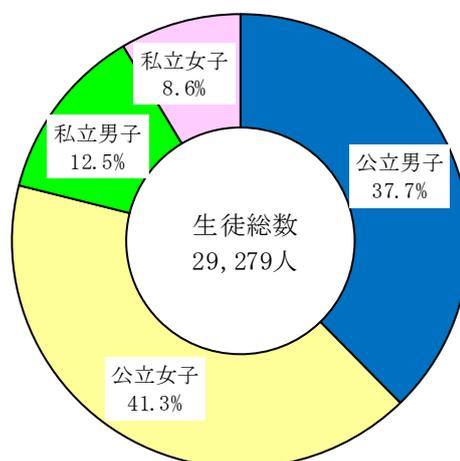
(表14、統計表55、56、57)

(2) 生徒数

生徒数は29,279人(男子14,688人、女子14,591人)で、前年度より526人(1.8%)増加している。これはピーク時(昭和40年度、65,436人)の44.7%である。

設置者別にみると、公立が23,112人(男子11,030人、女子12,082人)で、前年度より352人(1.5%)増加し、私立が6,167人(男子3,658人、女子2,509人)で、前年度より174人(2.9%)増加している。この結果、公立が78.9%、私立が21.1%の割合であった。

図8 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が27,842人(男子14,089人、女子13,753人)で、前年度より569人(2.1%)増加し、定時制本科が1,157人(男子489人、女子668人)で、前年度より16人(1.4%)減少し、全日制専攻科が120人(男子39人、女子81人)で、前年度より16人(11.8%)減少し、定時制専攻科が160人(男子71人、女子89人)で、前年度より11人(6.4%)減少している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が18,835人(構成比65.0%)で最も多く、次いで工業科が3,583人(同12.4%)、商業科が2,366人(同8.2%)となっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.5人(前年度12.2人)で、全国の14.1人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は9,821人(全日制9,475人、定時制346人)で、前年度より268人(2.8%)増加し、このうち他県所在の中学校卒業者が43人(全日制42人、定時制1人)、過年度中学校卒業者が19人(全日制5人、定時制14人)であった。

(表14、15、16、17、図8、統計表69、70、71、72)

表15 学年別生徒数(本科+専攻科)

(単位:人)

年度	計	本 科				専 攻 科
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成19	28,830	9,631	9,344	9,446	79	330
20	28,379	9,505	9,344	9,124	84	322
21	28,110	9,314	9,254	9,141	102	299
22	28,613	10,043	9,116	9,037	102	315
23	28,753	9,579	9,837	8,938	92	307
24	29,279	9,846	9,396	9,643	114	280
男子	14,688	4,900	4,777	4,836	65	110
女子	14,591	4,946	4,619	4,807	49	170

表16 学科別生徒数(本科のみ)

(単位:人)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成19	28,500	18,165	623	3,823	2,246	263	626	120	176	1,047	1,411
20	28,057	17,897	609	3,725	2,228	251	641	119	144	1,034	1,409
21	27,811	17,825	589	3,651	2,158	254	652	119	144	1,039	1,380
22	28,298	18,303	581	3,620	2,214	221	668	122	134	1,045	1,390
23	28,446	18,423	575	3,587	2,257	204	680	118	129	1,083	1,390
24	28,999	18,835	587	3,583	2,366	176	664	117	119	1,121	1,431
男子	14,578	9,097	324	3,066	964	108	62	2	4	528	423
女子	14,421	9,738	263	517	1,402	68	602	115	115	593	1,008

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

表17 学科別生徒数構成比(本科のみ)

(単位:%)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成19	100.0	63.7	2.2	13.4	7.9	0.9	2.2	0.4	0.6	3.7	5.0
20	100.0	63.8	2.2	13.3	7.9	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
21	100.0	64.1	2.1	13.1	7.8	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
22	100.0	64.7	2.1	12.8	7.8	0.8	2.4	0.4	0.5	3.7	4.9
23	100.0	64.8	2.0	12.6	7.9	0.7	2.4	0.4	0.5	3.8	4.9
24	100.0	65.0	2.0	12.4	8.2	0.6	2.3	0.4	0.4	3.9	4.9
男子	100.0	62.4	2.2	21.0	6.6	0.7	0.4	0.0	0.0	3.6	2.9
女子	100.0	67.5	1.8	3.6	9.7	0.5	4.2	0.8	0.8	4.1	7.0

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,344人（男子1,485人、女子859人）で、前年度より10人（0.4%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は36.6%である。

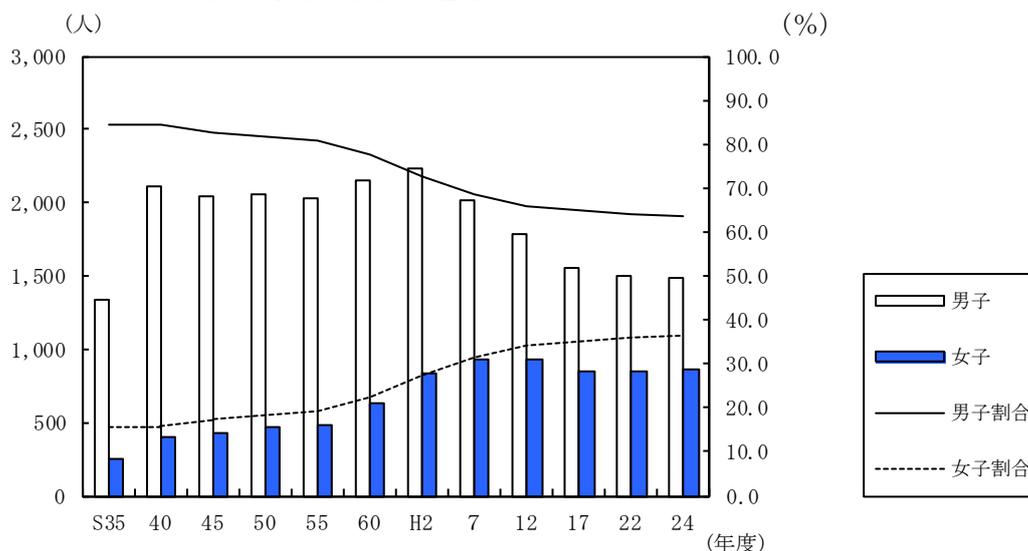
設置者別にみると、公立が1,917人（男子1,183人、女子734人）、私立が427人（男子302人、女子125人）となっている。

職員数は441人で、前年度より11人減少している。（表14、18、図9、統計表62、63、64）

表18 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成19	2,346	1,515	831
20	2,332	1,510	822
21	2,318	1,484	834
22	2,341	1,494	847
23	2,354	1,499	855
24	2,344	1,485	859

図9 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

(2) 生徒数

生徒数は902人（男子437人、女子465人）で、前年度より235人（20.7%）減少している。

20歳以上について年齢別にみると、「25～29歳」が168人（構成比18.6%）で最も多く、次いで「30～39歳」が148人（同16.4%）、「20～24歳」が144人（同16.0%）となっている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は19人で、前年度より1人（5.0%）減少している。

（統計表77、78、81）

5 特別支援学校

在学者数 増加

表19 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
平成19	13	372	1,134	2.6	896	0.2	3.0	0.1	1.3	0.1
20	13	368	1,174	3.5	896	0.0	3.2	0.2	1.3	0.0
21	13	351	1,171	△0.3	888	△0.9	3.3	0.1	1.3	0.0
22	13	348	1,185	1.2	891	0.3	3.4	0.1	1.3	0.0
23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1
24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0
国立	1	9	59	0.0	31	6.9	6.6	0.0	1.9	△0.1
公立	12	338	1,168	1.0	877	1.6	3.5	0.1	1.3	0.0

(1) 学校数

学校数は13校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が12校となっている。

(2) 学級数

学級数は347学級で、その内訳は、幼稚部が3学級、小学部が133学級、中学部が88学級、高等部が123学級となっている。

(3) 在学者数

在学者数は1,227人(男子836人、女子391人)で、前年度より12人(1.0%)増加している。

(4) 教員数

教員数(本務者)は908人(男子276人、女子632人)で、前年度より16人(1.8%)増加している。

(表19、統計表82、83、84、87)

6 専修学校・各種学校

生徒数 専修学校、各種学校とも減少

【専修学校】

表20 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成19	34	3,493	1,097	2,396	312	1,063	160	3,208	125
20	32	3,282	976	2,306	299	1,063	148	3,031	103
21	32	3,147	978	2,169	293	1,059	146	2,906	95
22	31	3,390	1,071	2,319	276	1,089	168	3,122	100
23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
24	32	3,338	927	2,411	285	1,116	171	3,132	35
公立	6	781	89	692	66	428	-	781	-
私立	26	2,557	838	1,719	219	688	171	2,351	35

(1) 学校数

学校数は32校で、前年度より1校増加(増加のみ)し、このうち休校中の学校は2校(私立2校)であった。

設置者別にみると、公立が6校、私立が26校となっている。(表20、統計表89、90)

(2) 生徒数

生徒数は3,338人で、前年度より1人(0.0%)減少している。

男女別にみると、男子が927人で、前年度より116人(11.1%)減少し、女子が2,411人で、前年度より115人(5.0%)増加している。

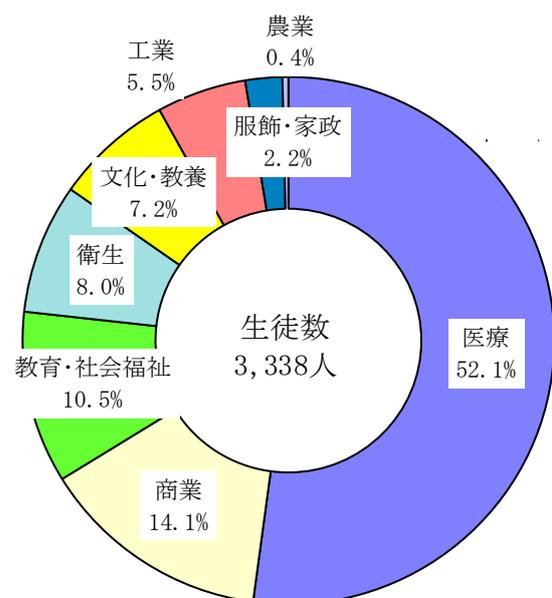
課程別では、高等課程が171人(構成比5.1%)、専門課程が3,132人(同93.8%)一般課程が35人(同1.0%)となっている。

分野別では、医療関係1,740人、商業実務関係470人、教育・社会福祉関係352人の順に多い。

学科別では、看護1,211人、理学・作業療法185人、美容172人の順に多い。

(表20、図10、統計表93、94)

図10 専修学校の分野別生徒数の構成



(3) 教員数

教員のうち本務者は285人（男子83人、女子202人）で、前年度より17人（6.3%）増加し、兼務者は1,116人（男子593人、女子523人）で、前年度より12人（1.1%）増加している。

教員数（本務者）を課程別にみると、高等課程が13人、専門課程が263人、一般課程が9人となっている。設置者別では、公立が66人、私立が219人となっている。

（表20、統計表89、96）

【各種学校】

表21 各種学校の推移

（単位：校、人）

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数（再掲）	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成19	31	2,862	1,605	1,257	306	92	2,333	529
20	29	2,295	1,250	1,045	301	89	1,713	582
21	28	2,266	1,219	1,047	298	92	1,700	566
22	27	2,264	1,244	1,020	280	102	1,621	643
23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662
24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653
私立	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653

(1) 学校数

学校数は26校で、前年度より1校減少（減少のみ）し、このうち休校中の学校は1校であった。

（表21、統計表97）

(2) 生徒数

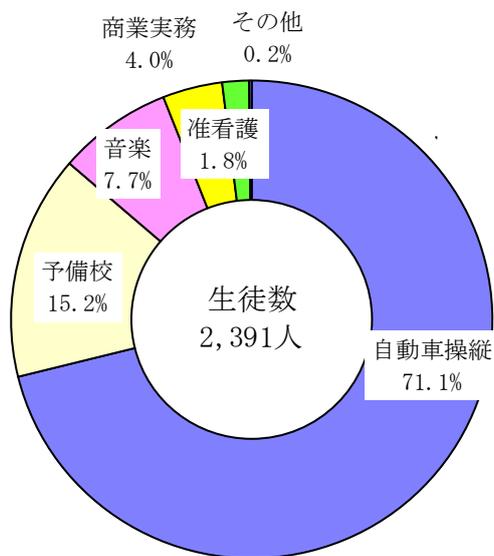
生徒数は2,391人で、前年度より40人（1.6%）減少している。

男女別にみると、男子が1,316人で、前年度より54人（3.9%）減少し、女子が1,075人で、前年度より14人（1.3%）増加している。

課程別では、自動車操縦1,701人、予備校363人、音楽184人の順に多い。

（表21、図11、統計表97、99）

図11 各種学校の課程別生徒数の構成



(3) 教員数

教員数（本務者）は273人（男子243人、女子30人）で、前年度より3人（1.1%）減少している。

（表21、統計表97、102）

7 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 98.9%で全国第7位

表22 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成19	10,176	10,049	1	5	38	83	—	3	98.8	0.4
20	10,060	9,916	—	8	61	73	2	2	98.6	0.6
21	9,843	9,697	4	3	38	101	—	1	98.5	0.4
22	10,531	10,379	—	1	39	112	—	4	98.6	0.4
23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
男子	5,154	5,093	—	2	23	36	—	2	98.8	0.5
女子	5,154	5,101	3	1	5	43	1	—	99.0	0.1
国立	158	158	—	—	—	—	—	—	100.0	—
公立	10,038	9,925	3	3	28	78	1	2	98.9	0.3
私立	112	111	—	—	—	1	—	—	99.1	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業生数

平成24年3月の中学校卒業生数は10,308人で、前年度より264人(2.6%)増加している。

男女別にみると、男子が5,154人で、前年度より47人(0.9%)減少し、女子が5,154人で、前年度より311人(6.4%)増加している。

進路別では、高等学校等進学者が10,194人(構成比98.9%)、専修学校高等課程進学者・専修学校一般課程等入学者が6人(同0.1%)、就職者が28人(同0.3%)などとなっている。

(表22、統計表106、107)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は10,194人(男子5,093人、女子5,101人)で、前年度より262人(2.6%)増加している。その内訳は、高等学校全日制課程9,497人(構成比93.2%)、定時制課程331人(同3.2%)、高等専門学校267人(同2.6%)、特別支援学校高等部55人(同0.5%)、高等学校通信制課程44人(同0.4%)である。

他県への進学者数は112人で、前年度より28人(20.0%)減少し、進学者全体の1.1%であった。

(表22、23、統計表106、107)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は98.9%(前年度98.9%)で、全国第7位(前年度第9位)であった。

男女別にみると、男子が98.8%(前年度98.7%)、女子が99.0%(前年度99.1%)となっている。

(表22、24、図12、統計表106、107)

表23 高等学校等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高等学校			高等専門 学 校	特別支援 学 校
		全日制	定時制	通信制		
平成19	10,049	9,314	293	49	342	51
20	9,916	9,189	293	64	322	48
21	9,697	8,918	351	58	325	45
22	10,379	9,660	360	49	257	53
23	9,932	9,253	311	57	251	60
24	10,194	9,497	331	44	267	55
男子	5,093	4,747	129	13	173	31
女子	5,101	4,750	202	31	94	24

表24 進学率の推移

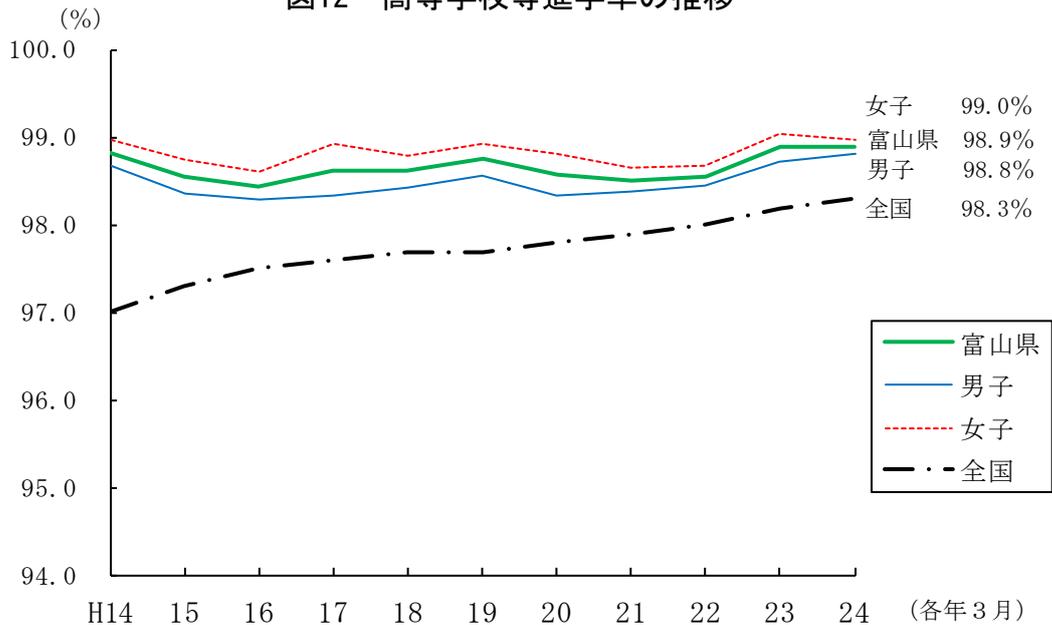
(単位：%)

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成14	98.8	98.7	99.0	97.0
15	98.5	98.4	98.7	97.3
16	98.4	98.3	98.6	97.5
17	98.6	98.3	98.9	97.6
18	98.6	98.4	98.8	97.7
19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。

高等学校等進学率の最高は、平成6年の98.92%であった。(平成23年は98.88%、平成24年は98.89%)

図12 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 22 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」を足し合わせた、就職者と就職進学者を含む全就職者）は 30 人（男子 25 人、女子 5 人）で、前年度より 3 人（9.1%）減少している。その内訳は、就職者 28 人、就職進学者 2 人である。

就職率は 0.3%（男子 0.5%、女子 0.1%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 1 次産業が 1 人、第 2 次産業が 19 人、第 3 次産業が 10 人となっている。

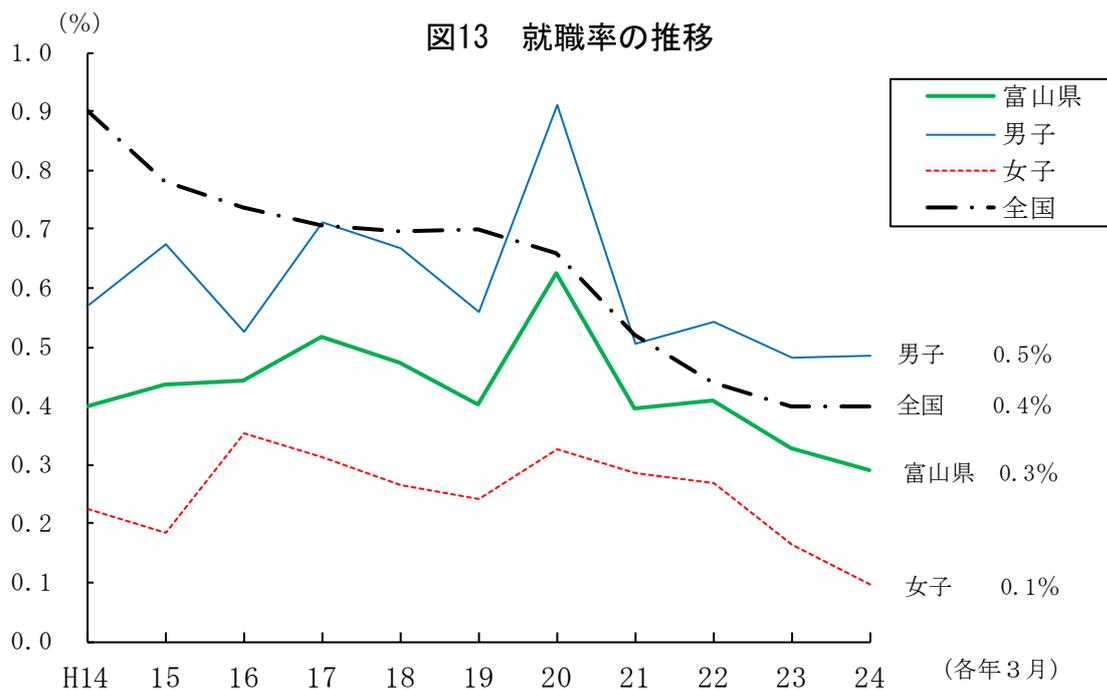
県内就職者数は 27 人（構成比 90.0%）で、前年度より 3 人（10.0%）減少している。

（表 22、25、図 13、統計表 106、107、109）

表25 就職者の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成14	47	44	93.6
15	48	45	93.8
16	49	46	93.9
17	54	51	94.4
18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0



8 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 53.3%で全国第16位

県内就職率 94.2%で全国第2位

表26 高等学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 一時的な 仕事に 就いた者	G 左記以 外の者	H 不詳 死亡	I BCDのうち 就職してい る者(再掲)	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+I)/A
平成19	9,942	5,324	1,763	692	2,002	44	117	—	10	53.6	20.2
20	9,320	5,091	1,454	724	1,886	43	121	1	10	54.6	20.3
21	8,986	4,867	1,408	668	1,876	47	120	—	1	54.2	20.9
22	9,041	4,989	1,588	672	1,620	31	141	—	9	55.2	18.0
23	8,926	4,837	1,506	737	1,708	51	85	2	13	54.2	19.3
24	8,791	4,683	1,486	682	1,791	46	100	3	11	53.3	20.5
男子	4,348	2,203	475	464	1,151	13	40	2	4	50.7	26.6
女子	4,443	2,480	1,011	218	640	33	60	1	7	55.8	14.6
公立	7,019	3,956	1,065	581	1,322	33	62	—	10	56.4	19.0
私立	1,772	727	421	101	469	13	38	3	1	41.0	26.5

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

※「一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

(1) 卒業生数

平成24年3月の高等学校卒業生数は8,791人で、前年度より135人(1.5%)減少している。

男女別にみると、男子が4,348人で、前年度より143人(3.2%)減少し、女子が4,443人で、前年度より8人(0.2%)増加している。

設置者別では、公立が7,019人、私立が1,772人となっている。

課程別では、全日制課程が8,508人、定時制課程が283人となっている。

進路別では、大学等進学者が4,683人(構成比53.3%)、専修学校専門課程進学者が1,486人(同16.9%)、専修学校一般課程等入学者が682人(同7.8%)、就職者が1,791人(同20.4%)、一時的な仕事に就いた者が46人(同0.5%)などとなっている。

(表26、統計表111、112、113、114)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は4,683人(男子2,203人、女子2,480人)で、前年度より154人(3.2%)減少している。その内訳は、大学学部3,905人(男子2,086人、女子1,819人)(構成比83.4%)、短期大学本科699人(男子101人、女子598人)(同14.9%)、高等学校専攻科75人(同1.6%)、特別支援学校高等部専攻科1人(同0.0%)、大学短大の通信教育部3人(同0.1%)である。

卒業学科別にみると、普通科が3,667人(構成比78.3%)、農業科が22人(同0.5%)、工業科が193人(同4.1%)、商業科が249人(同5.3%)、水産科が12人(同0.3%)、家庭科が59人(同1.3%)、看護科が40人(同0.9%)、福祉科が13人(同0.3%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が206人(同4.4%)、総合学科が222人(同4.7%)となっている。

(表26、27、統計表111、112)

表27 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学(学部)			短大(本科)			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成19	4,292	2,418	1,874	954	162	792	6	71	—	1
20	4,196	2,288	1,908	820	128	692	—	73	—	2
21	4,058	2,194	1,864	745	90	655	—	64	—	—
22	4,099	2,232	1,867	798	115	683	—	91	1	—
23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3
24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3

(3) 大学等進学率

大学等進学率は53.3%で、前年度より0.9ポイント低下し、全国第16位(前年度第17位)であった。このうち大学学部への進学率は44.4%で、前年度より0.7ポイント低下し、短期大学本科への進学率は8.0%で、前年度より0.2ポイント低下している。

男女別にみると、男子が50.7%(前年度51.1%)、女子が55.8%(前年度57.3%)で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が48.0%(前年度48.3%)、女子が40.9%(前年度41.8%)と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率(40.9%)が短期大学本科への進学率(13.5%)を上回っている。

卒業学科別では、普通科が65.0%(前年度65.0%)、農業科が12.5%(前年度24.9%)、工業科が16.5%(前年度16.4%)、商業科が37.7%(前年度37.4%)、水産科が14.0%(前年度20.6%)、家庭科が28.8%(前年度31.8%)、看護科が100.0%(前年度100.0%)、福祉科が26.5%(前年度22.7%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が61.7%(前年度62.4%)、総合学科が51.7%(前年度59.4%)となっている。

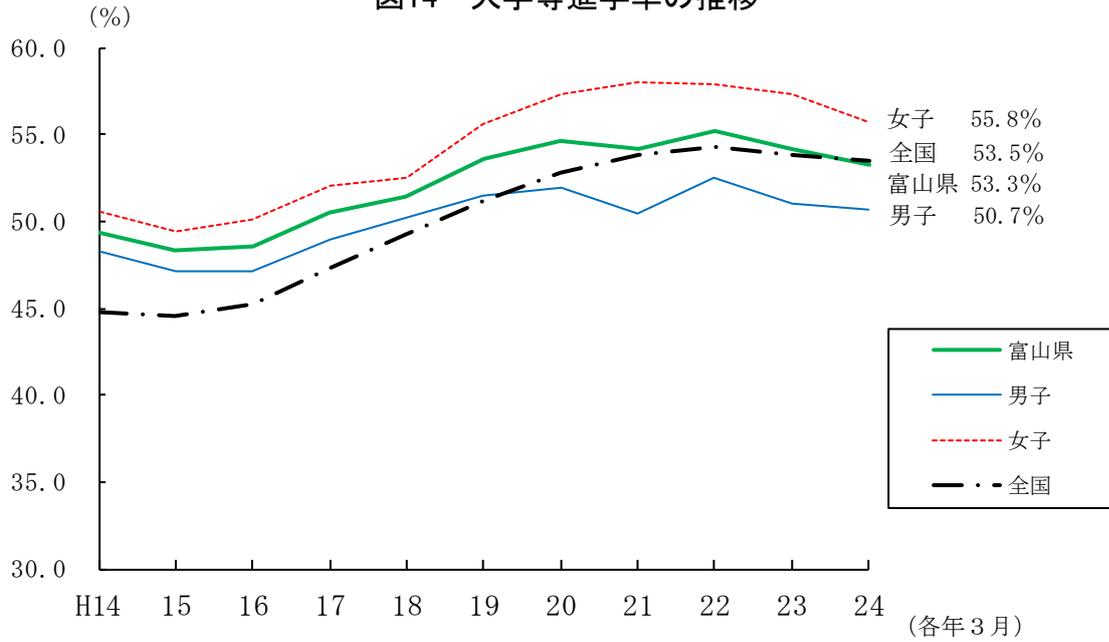
(表26、28、図14、15、統計表111、112)

表28 進学率の推移

(単位：%)

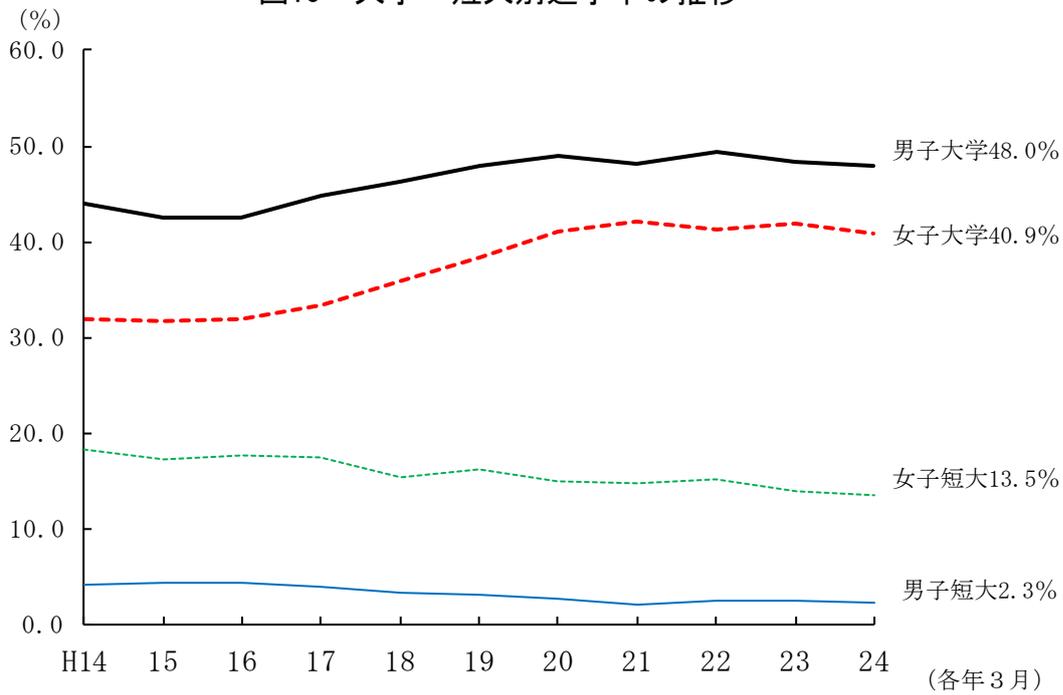
各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成14	49.4	48.3	50.6	44.8
15	48.3	47.2	49.4	44.6
16	48.6	47.2	50.1	45.3
17	50.5	49.0	52.1	47.3
18	51.4	50.2	52.5	49.3
19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5

図14 大学等進学率の推移



※大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。

図15 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 26 の「E 就職者」と「I BCD のうち就職している者（再掲）」を足し合わせた、就職者と就職進学者を含む全就職者）は 1,802 人（男子 1,155 人、女子 647 人）で、前年度より 81 人（4.7%）増加している。その内訳は、就職者 1,791 人、就職進学者 11 人であった。

就職率は 20.5% で、前年度より 1.2 ポイント上昇し、全国の 16.8% を上回っている。男女別にみると、男子が 26.6%（前年度 25.1%）、女子が 14.6%（前年度 13.4%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が 1,057 人（構成比 58.7%）で最も多く、次いで「卸売業・小売業」が 130 人（同 7.2%）、「建設業」が 124 人（同 6.9%）となっている。

職業別では、「生産工程従事者」が 1,060 人（構成比 58.8%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が 179 人（同 9.9%）、「専門的・技術的職業従事者」が 118 人（同 6.5%）となっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が 1,698 人で、県外就職者数の 104 人を大きく上回っており、県内就職率は 94.2% と、前年度より 0.6 ポイント上昇し、全国第 2 位（前年度第 2 位）であった。

県外就職者の都道府県別では、大阪府 26 人、石川県 22 人、東京都 20 人、愛知県 13 人などとなっている。

（表 26、29、図 16、17、18、統計表 111、112、116、117、118、119）

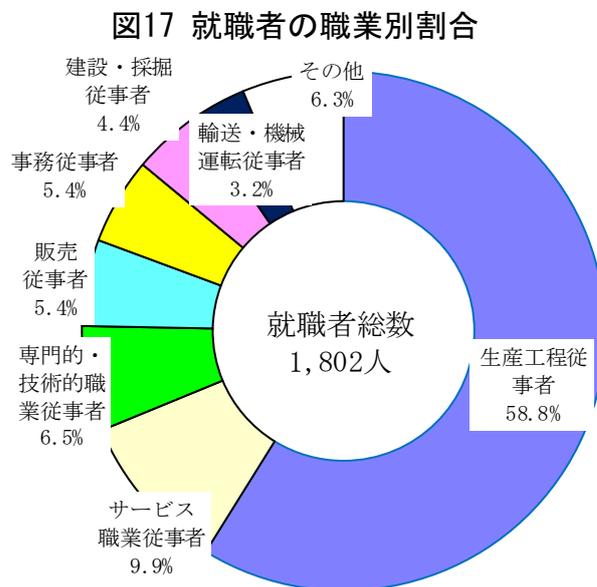
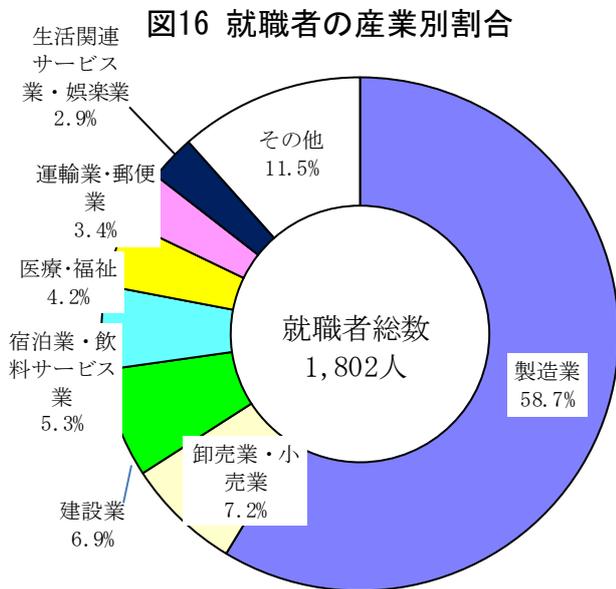
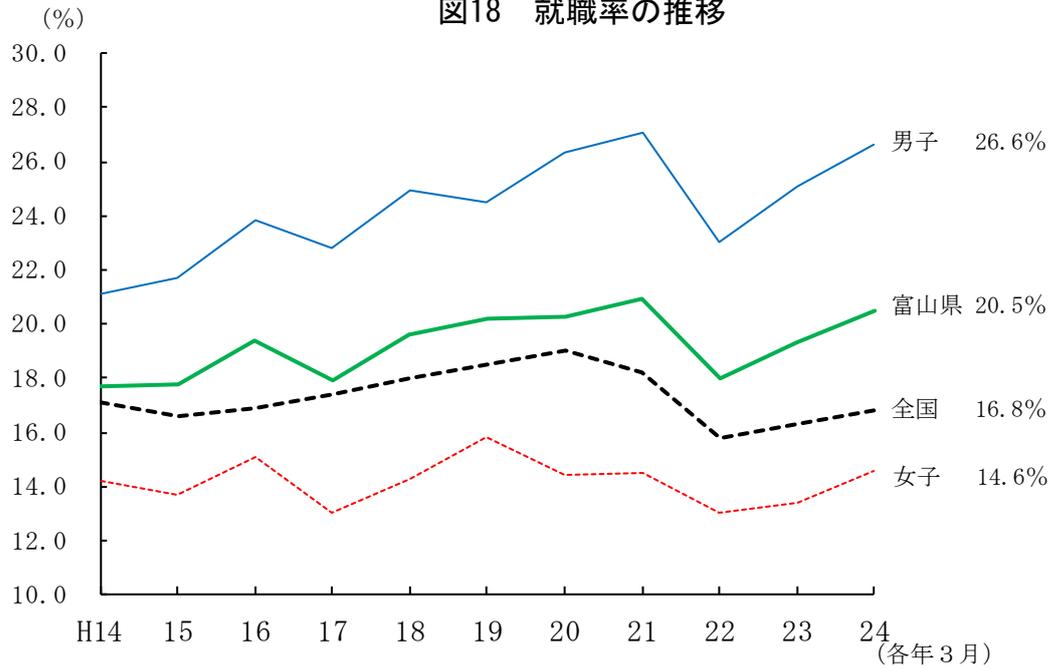


表 29 就職者の推移

(単位：人、%)

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就 職 者	県内就職率
平成14	2,057	1,897	92.2
15	1,994	1,837	92.1
16	2,092	1,966	94.0
17	1,880	1,747	92.9
18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2

図18 就職率の推移



9 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表30 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

区分	各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
盲学校	平成19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聾学校	平成19	4	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
養護学校	平成19	89	89	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
特別支援学校	平成20	91	89	-	-	-	2	-	-	1	97.8	-
	21	102	99	-	-	-	3	-	-	2	97.1	-
	22	111	108	-	1	-	2	-	-	1	97.3	-
	23	96	94	-	-	-	2	-	-	-	97.9	-
	24	123	120	-	-	-	3	-	-	2	97.6	-

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業生数

平成24年3月の特別支援学校中学部卒業生数は123人で、前年度より27人(28.1%)増加している。

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は120人で、前年度より26人(27.7%)増加している。

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は97.6%となり、前年度より0.3ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は0人で、前年度と同数である。

(表30、統計表110)

【高等部】

表31 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

区分	各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
盲学校	平成19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聾学校	平成19	7	4	-	-	3	-	-	-	-	57.1	42.9
養護学校	平成19	110	-	-	3	27	80	-	-	51	-	24.5
特別支援学校	平成20	121	1	1	3	30	86	-	-	70	0.8	24.8
	21	158	3	-	2	37	116	-	-	91	1.9	23.4
	22	141	1	-	1	37	102	-	-	81	0.7	26.2
	23	136	3	1	-	31	101	-	-	86	2.2	22.8
	24	145	3	-	3	35	104	-	-	96	2.1	24.1

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業生数

平成24年3月の特別支援学校高等部卒業生数は145人で、前年度より9人(6.6%)増加している。

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は3人で、前年度と同数である。

(3) 大学等進学率

大学等進学率は2.1%となり、前年度より0.1ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は35人で、前年度より4人(12.9%)増加している。

(表31、統計表120)